



ハトダヨ  
2020年  
10月号

函館市中央図書館

編集・発行

函館市中央図書館 指定管理者

図書館流通センター・マルエイヘルシーサービス共同事業体

〒040-0001 北海道函館市五稜郭町 26 番 1 号

TEL (0138) 35-5500 FAX (0138) 35-5525

市中央図書館だより

第53号 令和2年10月1日発行

## 予約ランキング

図書館でたくさん予約が入っている本は何か、みなさんにご存知でしょうか。

ランキングを参考に読みたい本を探すのも一つの方法です。

ご予約は図書館の窓口、またはインターネットからどうぞ。

＼令和2年9月1日現在、予約回数の多かった本をご案内しています／



|    |         |          |    |                       |            |
|----|---------|----------|----|-----------------------|------------|
| 1  | クスノキの番人 | 東野 圭吾／著  | 11 | 逆ソクラテス                | 伊坂 幸太郎／著   |
| 2  | 少年と犬    | 馳 星周／著   | 12 | 告解                    | 薬丸 岳／著     |
| 3  | 流浪の月    | 凧良 ゆう／著  | 13 | ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー | プレイティみかこ／著 |
| 4  | 家族じまい   | 桜木 紫乃／著  | 14 | 妖(あやかし)の掟             | 菅田 哲也／著    |
| 5  | カケラ     | 湊 かなえ／著  | 15 | 黙示                    | 今野 敏／著     |
| 6  | きたきた捕物帖 | 宮部 みゆき／著 | 16 | 焦眉                    | 今野 敏／著     |
| 7  | 流人道中記 下 | 浅田 次郎／著  | 17 | ライオンのおやつ              | 小川 糸／著     |
| 8  | 流人道中記 上 | 浅田 次郎／著  | 18 | 気がつけば、終着駅             | 佐藤 愛子／著    |
| 9  | 暴虎の牙    | 柚月 裕子／著  | 19 | 任侠シネマ                 | 今野 敏／著     |
| 10 | 十字架のカルテ | 知念 実希人／著 | 20 | 去年の雪                  | 江國 香織／著    |

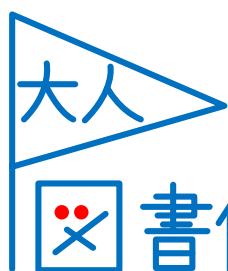


日時 **10/31 (土)**  
**14:00~15:00**  
(開場 13:30)

会場 **大研修室**

秋の読書週間恒例となった図書館員のブックトーク。どんな本が紹介されるかは当日のお楽しみです。事前申込み不要／出入り自由ですのでお気軽にご参加ください。

詳しくは館内チラシ・ポスターをご確認ください／お問合せ：函館市中央図書館 ☎0138-35-5500 (企画担当)



日時 **11/8 (日)**  
**13:00~14:30**  
対象 **20 歳以上の方**  
(定員 12 名)

書館ツアー

図書館スタッフが、普段は見られない図書館の裏側をご案内いたします！

事前申し込みが必要です。  
必ずチラシをご確認の上お申し込みください。

受付開始  
**10/18 (日)**  
**9:30~**

ハトダヨにしか  
載っていない！

ぜひ読んでみてください！

## スタッフのおすすめ本

タイトル：「いちにちうんち」

棚：児童 3～6  
請求記号：E ㍲

作：ふくべ あきひろ 絵：かわしま ななえ 出版社：PHP 研究所（2020 年 2 月）

うんちってきたなくてくさいのになぜか気になる…。  
もし一日、色んなうんちになってみたら、どんなでしょう？  
ゾウのおっきなうんちに、ハイエナの白いうんち。ウォンバットのうんちは四角いんですって！  
迫力のある楽しい絵に、大人も子どもも大笑いしてしまうこと間違いなしです。  
読み終わると「うんちってけっこうやるじゃん」と言いたくなりますよ。

タイトル：「スーパーマーケット  
では人生を考えさせられる」

棚：A1～3  
請求記号：B914.6 キ

著者：銀色 夏生 出版社：幻冬舎（2020 年 2 月）

詩集やエッセイで広く知られている銀色さん。紹介する本はスーパーマーケットでの観察日記。銀色さんの豪快な金銭感覚にくらくらしつつ、なんといっても面白いのは「人」への深いまなざし。いつもの店員さんとのやりとりで、お客さんの言動で、なんだか気になる通りすがりのあの人のことで・・・。

本のなかには、心に残る言葉が散りばめられています。日常にまぎれてしまいそうだけれどどうでもよくはできないこと。そんな言葉にハッ、とさせられます。

タイトル：「こども六法」

棚：J16～19  
請求記号：320 ヤ

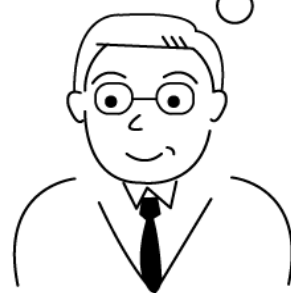
著者：山崎 聡一郎 出版社：弘文堂（2019 年 8 月）

日本国憲法・刑法・民法・刑事訴訟法・民事訴訟法と、商法の代わりに少年法といじめ防止対策推進法について書かれています。

法律とは、分野によって分けられているということ、不当な扱いを受けないように、すべての人の権利を守るために決まりがあることをイラスト付きで、とても分かりやすく解説されています。

こども六法は、児童書ではありますが、子どもだけではなく、大人の方にもぜひ読んでもらいたい 1 冊です。

## 館長随想（五十三）



9月26日図書館建築研究の第一人者植松貞夫先生に世界の図書館事情をお話いただきました。講演会のポスターを見てお気づきになった方もいると思いますが、図書館の閲覧テーブルで食事をしている写真が使われていました。使用した写真は先生が撮られたものですが、北欧とドイツの図書館です。十数年前ロンドンに新しくできた図書館が、貸出返却を行うサービスクの隣に、ハンバーガーショップのカウンターが設けられたことを聞きました。閲覧テーブルで食事も出来ます。欧米では飲食自由が当たり前のようになって来ているようです。

数年前札幌の北海道大学図書館を見学すると、閲覧席で飲み物は自由で、おしゃべりもOKでした。小さなテーブルは組み合わせ自由で、一人で使う時は1つ、グループでディスカッションする時は集めて大きなテーブルにできます。まるでカフェのようでした。そのかわり静かに読書したい人のためのサイレントルームがありました。様子を見ていると静粛を望む人は少数のようでした。

日本の公共図書館はもっと自由な雰囲気があってもいいのではないかと私は考えています。欧米の図書館が自由になってきているのは、図書館の役割が変わってきているからです。本を書架から取って館内で読むか、借りて読む所が図書館でした。図書館は様々な市民が集う所、問題解決のために調べるところに変わったと、植松先生は話されていました。

当館でも小さな変革として、閲覧室入り口横にある大きな展示コーナーに、市立函館博物館の協力を得て、本道を代表する近代詩文書作家千葉軒岳（ちばけんがく）さんの書を表示しています。春から縄文の土器などを展示してきましたが、縄文を字で表現した千葉さんの書を味わってください。今後も博物館や道立函館美術館と協力いただき、絵画や書等を展示するミニ博物館、ミニ美術館を、本を読むため以外の人たちにも見に来てほしいと考えています。

図書館をどう変えていけばいいのか、これは市民皆さんの議論が必要です。多くの建設的な意見をお待ちしています。

# デジタル資料館 紹介



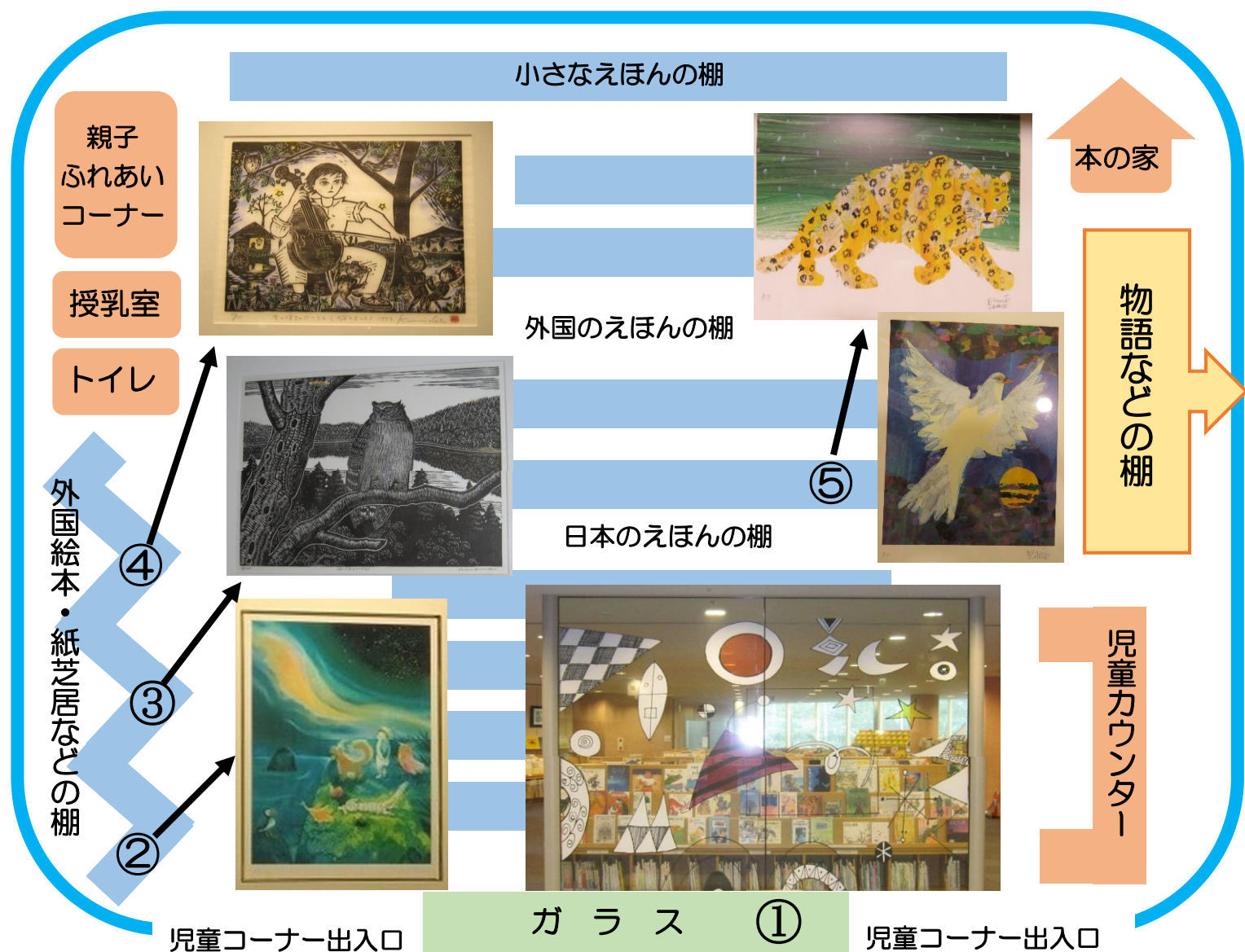
## 第百十三国立銀行

ph700526-0002

明治 12 年に函館の有力者によって設立された北海道に本店を持つ最初の銀行。改称や他行吸収を経て昭和 3 年に北海道銀行（後の北海道拓殖銀行、現在の北海道銀行とは別）と合併。紙幣発行権を有し、発行された紙幣も当館に残されています。

（参考：函館市史通説編 2 巻、函館・道南大事典）

# 児童コーナー美術展示巡り



- ①【児童コーナー入口】 ガラスアート『Park』天津 恵(作)  
→星、月、円などを組み合わせたフィルムアート
- ②【児童 1・2 の棚】 絵画『AURORA(オーロラ)』Malgorzata Piotowska(作)
- ③【児童 1・2 の棚】 絵画『湖の古木シリーズ1』手島 圭三郎(作)
- ④【児童 1・2 の棚】 絵画『セロ弾きのゴーシュ(猫のダンス)』佐藤 国男(作)
- ⑤【児童 8 の棚】 絵画 エリック=カール(作)



ほかにもたくさん展示されています。ぜひ児童コーナーをまわってみてください！